

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

- 公共機関
- ・区役所
  - ・会館
  - ・会館
  - ・会館
  - ・郵便局
  - ・郵便局
  - ・郵便局
  - ・郵便局
  - ・郵便局
  - ・放送局
- 元住吉西口(プレーン通り/井田中ノ町商店街通り)
- ・音楽教室
  - ・ワインバー
  - ・花屋
  - ・鉄板焼
  - ・ヘアサロン
  - ・カフェ
  - ・果物
  - ・パン
  - ・コーヒー専門
  - ・イタリア料理
  - ・カイロ、整体
  - ・音楽教室
  - ・コインランドリー
  - ・理容室
  - ・接骨院
  - ・ヘアサロン
  - ・デザイン制作
  - ・カフェ
  - ・時計・貴金属
- 元住吉東口(オズ商店街通り)
- ・介護センター
  - ・お茶
  - ・鍼灸院
  - ・介護センター
  - ・古本・CD
  - ・調剤薬局
  - ・飲み喰い処
  - ・イタリア料理
  - ・STEAK
  - ・旅する珈琲屋
  - ・Gステーション
- 元住吉近郊
- ・喫茶室
- 武蔵小杉近郊
- ・紅茶専門店・喫茶室
  - ・蕎麦店
  - ・珈琲店
  - ・喫茶店
  - ・喫茶店
- 東横線沿線
- ・調剤薬局
  - ・写真
  - ・レストラン&バー
  - ・調剤薬局
  - ・カフェレストラン
  - ・ジャズ喫茶
- 中原区役所5Fなかはらば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113  
 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000  
 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560  
 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566  
 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724  
 川崎プレーメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800  
 川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800  
 (改築中)川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617  
 かわさきFM 中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイスTel.044-712-1791  
 メン通り/井田中ノ町商店街通り  
 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992  
 24 Wine&Coffee Stand 中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437  
 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015  
 ゆうぎ亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999  
 キャメルヘアデザイン 中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375  
 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288  
 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338  
 リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554  
 MUI (旧もてえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368  
 オステリア ポッカーノ 中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003  
 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル1F Tel.044-434-4342  
 島倉 学ミュージックスクール 中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490  
 マンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュTel.0120-027-217  
 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273  
 井田名倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850  
 波照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692  
 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413  
 フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156  
 つだといいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
- みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963  
 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877  
 和式整体&整心「響氣」 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880  
 ツツイ 中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027  
 凸と凹と 中原区木月2-10-3  
 綱島道楽局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374  
 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980  
 自在屋 中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644  
 ステークグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129  
 cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101  
 ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
- シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
- Tea House ローズマリー 中原区小杉町3-70-4 ホーユパレス1F Tel.044-733-1076  
 そば あさひや 中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768  
 Cafe TEMO(テモ) 中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234  
 Coffee Spot Life(ライフ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024  
 ショップ カフェハット 中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116
- 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318  
 PHOTO SHOP 銀座 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406  
 Public House びあにしも 川崎区小川町16-15ヒロサビル103号Tel. 044-201-1668  
 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005  
 カンファーツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビルTel.045-211-2200  
 マッシュマロ 横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294

※上記サポーター記事は無料です。

Mマガジン 発行人 塚田親一 スタッフ 松本泰夫 発行音楽好きな友の会 TEL:090-9398-2889 2019-4-16-800 PrintinGRK

# M MAGAZINE

●Motsumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

5月5日(日) 13:30~  
**音友会レコード倶楽部**  
**Light Music**(軽音楽ファンの集い)  
 元住吉駅側音友ハウス

5月19日(日) 13:30~  
**音友会レコード倶楽部**  
**Jazz Date**(ジャズファンの集い)  
 元住吉駅側音友ハウス

5月21日(火) 12:10~  
**ランチタイム・**  
**ロビーコンサート**  
**川崎生涯学習プラザ**

●表紙:松本泰夫(マツモトヤスオ):  
 BlackMusicをこよなく愛し、自ら結成したTreasure Of Soulをはじめ、ジャズ、ロック、歌謡曲に至るまで幅広いジャンルにおいてボーカル、ベーシストとして活躍中。2018年6月にはボーカリストの浅井晴香とユニット「ハルマツ」を結成し、アコースティックギター&ボーカルとして元住吉を中心にライブ活動を続けている。一方、広告会社で様々な広告プロモーションを手掛けるとともに、舞台役者、脚本と活動の幅を広げている。

# Yasuo Matsumoto

Photo: Yoshiro Yasuda

元住吉の気軽な音楽会



音楽好きな友の会  
 http://ontomo.jp/  
 後援:「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
 公益財団法人 川崎市国際交流協会  
 人形劇団ひとみ座 / rk-factory

May 2019  
**5月号**

## 連載04 akkobird's JAZZ-4-U 高橋明子

### 新しい時代へ...

5月。日本は元号が変わり、新しい時代が到来しました。しばらくはいろいろ、日本中がにぎやかになりますね。「On The Sunny Side Of The Street」という歌が私の頭に流れてきています。この曲は1930年にブロードウェイのミュージカル「リュー・レス



▲On the Sunny Side of the Street/ to Ella & Basie

リー・の「インターナショナル・レビュー」の挿入歌として作詞ドローシー・フィールズ、作曲ジミー・マクヒューにより作られスイング時代を代表する名曲です。明るい通りを堂々と歩いているこの曲!!って感じます。私はこのバージョン、だーいすき!! 何度も何度も聴きました。ベーシストのエスペランサ・スボルディングがホワイトハウスでこの曲を歌いながら演奏していますが(2016)、彼女が演奏する前に粹なことを言っています。「ジャズはアメリカのクラシック音楽です。アメリカ南部で生まれ、都会でも広がっていきま

この「On The Sunny Side Of The Street」は世界恐慌があったどん底の時代に生まれ、それから約6 decades(10年X6)以上経った今もなお、私たちに「希望」を与えてくれます。あなたもこの歌のように「明るい(陽のあたる)道」を堂々と生きてみませんか? 私は彼女のこの言葉にぐっとききました。そう、そうなんだよねー、と。この歌ができたときも人々はとても大変な苦勞を背負って生きていたはず。でも、こんなに明るく「生きる希望」を持たせてくれる歌が生まれ、みんなに愛されました。今もなお、この歌が愛されるのは、人間と人間同士から地球規模でいろいろな問題が複雑化しているからでしょう。「生きる希望」を与えてくれる歌はいろいろありますが、この歌は「愛された年数」がハンパない!! たくさんの人々に歌われ何度も何度も蘇り、生き返り、命がまた宿り、「ゾンビみたいね」と繰り返された歌なのです。その存在の大きさ、重さ、素晴らしさと言ったら計測不可能です!! でも、実際に楽譜と見てみると、まあ、シンプルですよね。それがまた皆さんに愛される理由なのです。私がスタンダードを愛する



理由はここにあります。前述させていただいた、エスペランサのように1つの歌のすばらしさを伝えられるようになったら、ますます「歌う」ことが楽しくなりますよね。ぜひ、そんな1曲を見つけてみませんか? みなさんの人生がカラフルになりますように♪

へ〜、akkoはどんな歌、歌うの? と興味をもってくださった方はぜひライブにお越しください。お待ちしておりますーす♪

**LIVE at しえりる**  
 (新子安)  
**2019.6.29 SAT**  
 14pm-2stages  
**MC2000yen**  
 with 宮前幸弘(P)  
 ●Cafe Dining & Bar しえりる  
 横浜市神奈川区新子安1-10-2-2F  
 Tel:045-228-8707

**LIVE at 関内 ADLIB**  
**2019.7.13 SAT**  
 14pm-2 stages  
**MC2000yen**  
 with 中原けいこ(P) & 越野振人(B)  
 ●Jazz Spot ADLIB  
 横浜市中区吉田町3-9 2F  
 Tel:045-262-8111

**川崎市国際交流センター**  
**おもてなし観光ボランティア通訳セミナー**  
 外国人観光客を日本・川崎で案内する際の心構えやポイントを学び、ワークショップ形式でおもてなしを考えます。  
 日時: [午前コース] 5月9日(木)、5月16日(木) 10:30~12:00  
 [全日コース] 5月6日(月・祝) 10:30~12:00、13:00~14:30  
 対象:英語初中級レベル16歳以上  
 受講料:各コース 2,000円  
 定員:各コース40名(応募者多数の場合は抽選)  
 申込方法:ウェブまたはEメールにて  
 締切日:4月17日必着

●開催場所  
 川崎市国際交流センター  
 TEL 044-435-7000  
 FAX 044-435-7010  
 E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp  
 川崎市中区木月祇園町2-2  
 元住吉駅から徒歩10分

**英語による国際理解講座**  
 英語ネイティブ講師による講座(英語中上級レベル対象)  
 日時:①5月18日、②6月1日、③6月15日  
 土曜日、10:30~12:00  
 参加費:3,080円  
 定員:40名(応募者多数の場合抽選)  
 申込方法:ウェブまたはEメールにて  
 締切日:4月23日必着

**川崎市生涯学習プラザ 1階ロビー**  
**第77回 ランチタイム・ロビーコンサート**  
**5月21日(火) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料**  
**どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート**

●お問い合わせ  
 (公財)川崎市生涯学習財団  
 総務室企画情報係  
 ロビーコンサート担当  
 TEL 044-733-5811  
 E-mail:concert@kpal.or.jp  
 川崎市中区今井南町28-41

**音友ハウス(元住吉駅西口徒歩1分 フルッコ2F)**  
**5月5日(日) 13:30~ レコード倶楽部「軽音楽ファンの集い」**  
**ウィルソン・ブラザーズ**  
 米国の「スティヴ・ウィルソン&ケリー・ウィルソン」の兄弟デュオ「ウィルソン・ブラザーズ」特集。  
 「ホリーズ」のヒット曲「アナザー・ナイト」をカバーし好評を得ているグループで、これらの曲を鑑賞しながら当時は振り返ってみたいと思います。

【出演】  
 坂本光世(アコーディオン)  
 【プロフィール】  
 ジャズピアニストとして活動中にアコーディオンと巡り合い、その魅力に取りつかれて演奏に取り入れる。現在は、リサイタル・イベント・レコーディングなどで演奏活動をしながら、教材開発や楽譜制作も行っている。アコーディオン独奏を平山尚氏に師事。作曲・編曲を北条直彦氏に師事。

【曲目予定】  
 1.南京豆売り  
 2.鉄道唱歌B  
 3.トルコ・ジャズ行進曲  
 4.シェルブールの雨傘  
 5.四季よ!「冬」(ビバルディ)、など

**島倉 学ミュージックスクール**  
 プロ志望専門ヴォイス・トレーニング  
**30分無料体験レッスン実施中!**  
 【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分  
 島倉音楽スタジオ  
 〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106号)  
 【お問い合わせ】  
 島倉音楽事務所  
 代表 島倉学 営業日:火曜~土曜 12:00~21:00  
 定休日:日曜・月曜  
**TEL 044-567-5940** Mail: info@ms-music-school.com HP: http://www.ms-music-school.com/

**「音友会」の活動拠点は「音友ハウス」です。**  
 元住吉駅 西口徒歩1分、フルッコショップ「フルッコ」2F、中原区木月1-35-1 フルッコビル2F  
 ●レコード倶楽部、コンサートの問い合わせ ontomo.jp 検索  
**090-9398-2889** (担当:塚田) ※「非通知設定」には対応不可。

歌が人生を変える  
 音楽は決して貴方を裏切らない  
 驚くほど歌い方が上達する  
**「島倉 学メソッド」**



連載32 私とジャズ 松波陽介  
音楽を始めるきっかけ

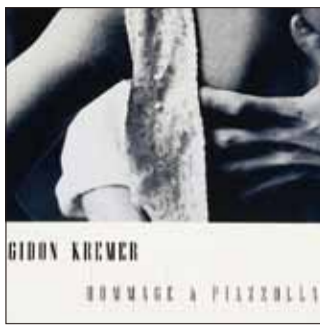
気付けばMマガジンを連載を始めてからもう31回を超えました。いやあ本当に早いもので光陰矢のごとしであります（Time Flies!）。当初連載を始めた時は「私とジャズ」という事で、自分がジャズを始めたきっかけや様々なエピソードなどを紹介していたのですが、いつの間にか音楽評をお話する場のような感じになって参りました。私の状況も様々に変わりつつありまして…最近ではというジャズやサクソからだいぶ離れております。とはいえ何だかんだで、音楽からは逃れられません（笑）最近では自分の所属しているプリースクールで恐らく多くもギターや楽典（音楽の所謂座学）を教わっています（音友会には素晴らしいミュージシャンの方々が在籍していて、恐れ多すぎで「教える」なんて言うのが分かりませんが…）。今ではどうしてそのような経緯になったか、と言うことを少しお話ししたいと思います（先月に続き美談になる可能性、ありです（笑））。本当にきっかけは単純なところからでした。そのプリースクールでは毎年3月になると卒業を祝う会という卒業式のようなイベントがあるので。私は毎年そこで演奏をする役目を預かるのですが（去年は「ヘルマンハーブ」という珍しい楽器とデュオ、一昨年はサクソ一本で臨みました）、今年は何と歌手になりたいという生徒がいたのでその子と一緒に演奏する事になったのです。サクソで歌の伴奏はなかなか難しいと思いき、本当に多少ではありますがギターに心得があったのでギター伴奏をする事になりました。練習では、その子の歌に圧倒されてしまって（いや、も



う本当に掛け値無しにうまい、本当にうまかった。）何だか伴奏しているのが伴奏されているのか（？）わからなくて、どんどん演奏のにめり込んでしまうような、とても素晴らしい出来だったのです。そうしていざ本番を迎えての演奏ですがほぼ記憶に残っていることはなく、あつという間に終わってしまったのです。「すごくよかった」等の感想をもらいました。そんな中一人の生徒が「自分は来年あつで演奏して弾いてみたい、いや弾くんだ。そのためには何をしたらいいか教えてください。」と楽器もほとんど弾いたことがない彼がそう呟いたので。歌に感動したのか、演奏に感動したのか、どちらか分かりませんが（いやあどう考えても歌だろ、っていう反応はこの際置いて…）そのように思わせることが出来た、という事実はとても演奏冥利に尽きる、と言いますかこんなに嬉しく思うことは久しぶりでした。と書いていた高校の部活動の勧誘をした時に同じような出来事があった事を思い出しました。こんな風に音楽というのは感動を誘うだけでなく、自分も演奏してみたいということも思わせてくれるものなのだ、だから演奏する時は全身全霊をかけてやらなくては、という事に改めて気付かされる出来事でした。

地元マスターのジャズ談話  
BIANCA店主 長谷部 徹

連載29 4ビートに首ったけ  
今回はちょっと寄り道。  
ピアノを入りにタンゴの世界を覗いてみましょう。



▲①Hommage A Piazzolla/Gidon Kremer



▲②Concerto Pour Bandneon/Josep Pons

ブエノスアイレスと聞いて興奮してしまうのは私だけでしょか？そこには強烈な光があり、漆黒の間があり、欲望があり、絶望があり、激しい情愛があり、裏切りがあり…そんなものが混然一体となったエキゾチックな街だと勝手に思い込んでいるのですが、違いますか？そんな街で生まれたアルゼンチン・タンゴが魅力的で無い訳がありません。特にピアノソラの音楽は特別だと思えます。

アストル・ピアソラは1921年、アルゼンチン生まれの偉大な作曲家であり、バンドネオン奏者です。タンゴを「踊るための音楽」から「聴くための音楽」へと発展させた人物です。そのあまりにも情熱的で、官能的で、排他的な楽曲の魅力に取り憑かれて、数多くのアーティストが彼の曲を演奏、録音してきました。今回は、愛聴している何枚かをご紹介します。

まず1枚目は初めてピアノソラと出会ったアルバム、クラシックのバイオリニスト、ギドン・クレメールの「ピアノソラへのオマージュ」（写真①）です。クラシックの方は、一音一音が丁寧で綺麗ですね。ひとつの音が哀しい音色で始まったのに、喜びの余韻を残して終わったりするんです。美空ひばりの歌みたいですね。まず、聴いていただきたいのは3曲目「Oblivion（忘却）」です。静かに静かに哀しくて細い緊張感のあるバイオリンから、一気にバロックのような重厚感に満ちた展開をする瞬間がたまらない。4分程の短い曲なのですが、10分位かけてじっくり演奏をして欲しかったです。次の4曲目「Escualo（鮫）」も素晴らしい。鮫の持つ、機敏性、冷酷性、威厳などを見事に音で表している。クレメールの表現力に驚きます。10曲目「El Sol Sueno」はピアノソラに捧げた曲で唯一彼の作曲では無いのですが、タンゴらしいタンゴでカッコイイです。

2枚目は「CONCERTO POUR BANDNEON」（写真②）。このアルバムはオーケストラとバンドネオンの組み合わせでピアノソラの曲を演奏しているのですが、アーティ

ストについては殆ど知りません。ただ、バンドネオンのパブロ・マイネッティは有名らしいです。（いい加減な知識ですいません。）前半のバンドネオン協奏曲も聴きごたえがあるのですが、聴いていて楽しいのは後半のタンゴの曲達です。7曲目「Decarissimo」はタンゴには珍しく、少し明るく喜劇的な印象。お勧めは8曲目「Invierno Porteno」。胸が苦しくなるような切ないメロディーのテーマをある時はゆっくりとある時はテンポを変えて、またソロで静かに聴かせたり、音を幾重にも重ねてドラマティックに演奏したり。素晴らしいです。その後も有名曲が並んでいますので、ピアノソラファンにはたまらないアルバムだと思います。

最後はまたクラシック界から、チェロの天才、ヨー・マの「SOUL OF THE TANGO」（写真③）です。ギドン・クレメールのバイオリンと比較すると面白いですね。バイオリンは情熱的に個性を主張するような楽器ですけど、チェロはその暖かくふくよかな音色で全てを包み込むような感じがします。また、ふたりの立ち位置もそれぞれ違いますよ。ヨー・マの方がよりクラシックに近い。皆さんどちらがお好みでしょうか？さて、外せないのは1曲目「Libertango」。多分ピアノソラの曲で一番有名な曲ですね。ロックで言う所のリフが何度も繰り返され、少しずつ音階がずれて行くところが堪りません。そこに哀愁たつぷりの切ないテーマが重なってきます。アルバム全体に言える事ですが、ヨー・マの少しスローテンポな演奏はタンゴ独特の民族性や官能的な部分のコントラストを抑え気味にして、エレガントで上品な楽曲に仕上げられています。チェロの柔らかな音と合っていますね。スペースがなくなってきたので、こころへんで終わりにしますが、10曲目、11曲目も素晴らしいです。それにしても、このジャケットはもう少し何とかならなかったのかな？まあ、最初の2枚がカッコ良すぎますよ。タンゴはカッコ良くなければいけません。



▲③Soul of the Tango/Yo-Yo Ma

Jazz & Light Music

音友レコード倶楽部Report ONTOMO MUSIC RECORD CLUB ACTIVITY REPORT



音友会Report 2019年3月音友会の報告

Light Music 高校生時代よく聴いたまさに血と汗と涙のバンド、  
「Blood, Sweat & Tears」

3月3日はひな祭りの日曜日、また東京マラソンも開催されましたが残念ながら雨になってしまいました。今回は私が高校時代プラス・ロックにはまっていた頃によく聴いた『Blood, Sweat & Tears』を特集しました。他のプラス・ロックグループと比較すると、ほどよくジャズとポップスがブレンドされ、また後に有名なジャズ・トランペット奏者となるランディ・ブレッカー、ルー・ソロフ等を輩出したグループとしても有名です。もともとは「ブルース・プロジェクト」を脱退したアル・クーパーがブルース・ロックにプラスを融合させることを試みて結成したグループでした。しかし、他のメンバーとの音楽的な方向性（もっとジャズよりに）の面で意見が相違し、ファースト・アルバム発表後、アル・クーパーは脱退せざるを得なくなりました。残ったメンバーは、D.C.トーマスという強力なボーカリストを迎えたと共に初期からのメンバーであったアルト・サクソ奏者のフレッド・リブソウス、トロンボーン奏者のディック・ハリガンがそれぞれキーボードと曲のアレンジを担当し、アル・クーパーが脱退した穴埋めを行いました。結果的にはそれが成功し、グ

ループとしての2枚目のアルバムである「ブラッド・スウェット・アンド・ティアーズ」（写真①）は最優秀アルバム賞等グラミー賞3部門を獲得する快挙を成し遂げました。そのアルバムと続けて作成された「ブラッド・スウェット・アンド・ティアーズ3」の中からピックアップして聴いていきましたが、まさにバンド名の通り、血と汗と涙がほとばしる演奏でリズム陣、プラス陣共にボーカルに負けじと頑張っている演奏でした。これらのアルバム以外ではトランペットの、クリス・ボッティの「ライヴ・イン・ボストン」（写真②）よりヴァイオリン奏者のルチア・ミカッレリをフィーチャーした曲「エマニエル」、ザ・スリー・サンズが1962年に発表した「ウォーム・アンド・テンダー」（写真③）、国府弘子のセカンドアルバム「グローブ・トロットィング」（写真④）よりさわやかなフュージョンに挑戦した曲「ソング・フォー・ボヘミアン」、モダン・ジャズ・カルテットの「コンコルド」（写真⑤）より名曲「朝日の如くさわやかに」などがかりました。（フレドリック・ジョーンズ記）

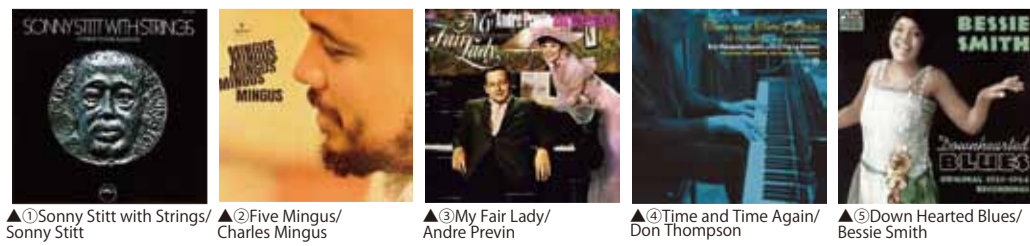


▲①Blood, Sweat & Tears/Blood, Sweat & Tears ▲②Live In Boston/Chris Botti ▲③Warm and Tender/The Three Suns ▲④Globe Trotting/Kokuho Hiroko ▲⑤Concorde/Modern Jazz Quartet

Jazz Date デューク・エリントンの名曲をたっぷり堪能

D.Jタイムはデューク・エリントンの生誕120周年記念プログラムでした。マイルス・デイビスは「ジャズに携わる人々は皆、年に日を決めて跪きエリントンに深い感謝を捧げるべきだ」とその偉業をたたえています。とりあげたアルバムは、1932年録音のオリジナル盤、1962年にコルトレーンに胸をかしたインパルス盤、1966年に再録音したオーケストラ盤「The Popular」の3枚以外はカバー演奏で、パド・パウエル、チャールズ・ミンガス、ソニー・ロリンズ、リー・コニーツが登場。そしてソニー・ステイット（写真①）とズート・シムスの全曲トリビュート盤でした。ヴォーカル、トリオ、コンボ、ビッグバンド、ストリングスと様々な角度からの構成でした。D.J担当の筆者は、過去に楽団をクビになったことのあるチャールズ・ミンガスの「Mood Indigo」（写真②）が今回の白眉と思います。エリントンは1930年代バックingham宮殿に呼ばれ御前演奏を行いました、主催者は当時の英国皇太子でした。後の国王エドワード8世（退位後の称号はウインザー公）ですが、熱烈なエリントン蒐集家だったと評論家の野口久光さんが

記述しています。持ち寄りタイムは11人から18曲の紹介がありました。2019年3月に89歳で死去したクラシック音楽の指揮者でもあるアンドレ・プレヴィンのリーダーアルバム（写真③）でスタートし、次は遺族がダウンロードして聴くことを望んでいると解説があったハリー・エヴァンス（ビル・エヴァンスの兄）の演奏でした。生涯にたった一枚の録音と知り、私も含め皆様も注意深く耳を傾けておられました。名曲「ヴァーモントの月」を、1954年のジェリー・マリガンとドン・トンプソンが2018年12月にトロントで録音したばかりの新譜（写真④）とで聴き比べをすることもできました。特筆は筆者も観ました映画「大統領の執事の涙」の開始早々の衝撃的なシーンを観て思い浮かんだと語られていた、ベッシー・スミスが唄うブルース「T Ain't Nobody's Biz-ness If I Do」（写真⑤）でした。見事な歌唱力に魂が揺さぶられたことに加え、白人至上主義の撤廃へ期待を込めた解説がとても重く胸に響きました。（K.Tanagawa 記）



▲①Sonny Stitt with Strings/Sonny Stitt ▲②Five Mingus/Charles Mingus ▲③My Fair Lady/Andre Previn ▲④Time and Time Again/Don Thompson ▲⑤Down Hearted Blues/Bessie Smith

5月5日の Light Music 軽音楽ファンの集い



●5月5日(日) 13時30分～「Light Music」(軽音楽ファンの集い) ウィルソン・ブラザーズ AOR第2弾はウィルソン・ブラザーズです。このバンド唯一のアルバム「アナザー・ナイト」全曲を聴いていきます。

Essay 「くじら座」日記 牧野ケント

六等星

「来るんです、来週のライブに」電話の向こうから不安が伝わる。こんな経験は初めて。僕は少ない記憶を頼りに、必死でアドバイスになるような言葉を探した。しかし、本当は時が止まったようで、何も考えられなかった。1,2ヶ月前の会話が事の始まりだ。初めて彼女のライブを観た時、自分にはないものを数多く持っている人だと感じた。きっかけさえあれば、すぐにでも世に出るだろう。疑いなく感じられたことが少し悔しくもあつたけれど、才能のある人はやはり燃るべき舞台に立つべきだ。将来、彼女の歌に「人生を救われた」と思う人が必ずいる。少しでも今の僕にできることを必死に考えた結果、僕は彼女の音源を録音し、手づくりのCDをプレゼントすることに。だから、大手レコード会社のスカウトが、遠く離れた静岡の地まで彼女のライブを観に来ることが決まった夜、僕は

時が止まるような衝動を感じた。「アドバイスできることなんて、何も無いんじゃないか」。僕はただ、月が雲に隠れるのを見送った。ヘッドフォンから聴こえる音を聴いて、「怖い」と思うのは初めてのことだった。この才能を、今自分の手が形にしようとしている。何もできない恐怖感が僕を襲う。見ていろ、と汗を拭い自分に言い聞かせた。「芸術をつくることは、命を削ること」。いつか見た言葉は本当たど感じる。あれから7年。そう思えなかつたら、まだ足りない。きつとまだ足りない。僕は頭を掻きむしる。こっちを見ているオリオン座に気がき、僕は再びギターを手に取った。さあ、行かなきゃ。「君を忘れた世界は音を失くしてしまいました 遠くなる声を探すよ」



写真は「くじら座」牧野ケント。

Course Addicted to Guitar-13 永瀬 晋

ジャズの雰囲気を感じよう-2

お世話になっております。今月もまたギターを始めたい方の方にオススメなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。今回も前回同様ジャズ系アプローチのご紹介です。ジャズと言いますと、ベースラインがポンポン動いていく「ウォーキングベースライン」が印象的なイメージがあると思います。聞いた感じもオシャレでかっこいいですよね。このかっこいいアプローチをベースだけに許してしまうのはもったいないので（笑）、ギターで再現できる方法をご紹介します。という訳で今回の譜例です。G7一発のコード進行ですが、コードの構成音を辿りながら和音を上下に動

かして「ハーモニッククリシェ」を使うことで、ウォーキングベースラインにコードを載せるといって演奏をすることが出来ます。この譜例も難しいことは考えずタブ譜をたどって弾いてみてください。2拍チェンジ、1拍チェンジの2種類を用意してみました。かなりジャジーな響きになると思います。この響きが気に入ったら是非ジャズの奏法を研究してみることをおススメします！こんな調子で今後もまた色々な奏法をご紹介していきますので、是非ともご期待ください。

Es-1 G7 Es-2  
T: 3 3 4 4 6 6 7 7 3 4 6 7  
B: 3 3 4 4 6 6 7 7 3 4 6 7

ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

5月19日の Jazz Date ジャズファンの集い



●5月19日 13時30分～「Jazz Date」(ジャズファンの集い) 3管編成バンド ジャズにおいてはトランペット、サクソ、トロンボーンという3管編成のバンドが多く存在します。その中でも代表的なアート・ブレイキー&ジャズ・メッセンジャーズ、ジャズテット等を聴いていきます。